

「アベ政治を許さない」行動

憲法キルトバッグの中へ持ち歩けます。
— A4サイズ・ビニール袋にご活用ください。



止めましよう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2015. 11. 5. NO. 1356.
ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX とも
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)



毎月3日 午後1時 澤地文枝さんよびかけ
● 日本国憲法が公布されたのは、1946年11月3日。
作家で九条の会よびかけ人の澤地さんが、新たによびかけられました。書は俳人の金子兜木(とつた)さんが書かれたものです。



日本国憲法
前文
第一章 天皇 (1-18)
第二章 国政の運営 (19-64)
第三章 裁判権 (65-81)
第四章 地方自治 (82-94)
第五章 雑則 (95-99)
附則 (100)

●キルトをつくられた
園サトル様から、お便り。
「キルトの文言はとても短かくてあります。
ぜひ、条文そのものとあわせてお読みください。」

11月8日(木)
午後4時
王子駅前(北)
日本共産党の
山添拓
(弁護士)さん
街頭演説
おこないます。
ぜひ、おさそいあわ
せて、お聞下さい。



日本共産党
山添拓
やまぞえ たく
30歳の
人権弁護士

国民連合政府って、何だ!?
北では、「トマトの会」が交流会
小池晃参院議員と千葉真さんと
ママの会メンバーが、語りあった。
11月1日、北とぴあ、ペガサスホールに130人が
参加して、「国民を励ます勇気ある提案」と評価。
戦争法の廃止を求める
新しい、統一署名ができた。
これは、戦争せぬ、9条壊すな!
総がかり行動実行委員会が2000万人
署名を成功せようと、新キルトのもの。

私たちの地域
まち
でも、署名にとり
みましょう。
読者のみなさん、
ご協力お願いします。
11月19日(休)赤羽西口
ごご4時-5時

- ☑ 都営住宅の入居募集中です。
申込みについてのご相談は...
さがらとしこ事務所 3905-0970へ
- ☑ 年末恒例の桐ヶ丘バザーは
13/13日 10時半~くわしいことは、後日
おしらせします。
- ☑ 新春バスは、2016年1月17日(日) 瑞穂中。

「国民連合政府」構想はこうして生まれた

「野党は共闘！」クロニクル

8/30 国会前12万人包囲



憲法学者の大半が「連憲」と明言。元最高裁長官も元内閣法制局長官も「連憲」と断言。そんな中、空前の反対運動が日本中に広がった。

野党は共闘！

国会前スピーチには、民主・共産・維新・生活・社民の党首も揃った。

8/22の「東大駒場祭」で、若者たちが日本共産党の志位委員長との「連合政府で日本を変える」という確信を知らせるメッセージ「クロニクル」という言葉に、魅かれました。自分自身で記録するということ。アメリカ映画のタイトルにも、この映画は「大いなる力には大いなる責任が伴う」と。

9/18 野党5党が内閣不信任で一致



国会では、政府答弁が二転三転するなか、野党の連携が強まっていった。内閣不信任案を共同提出、「廃止にするまで一緒にたたかう」決意が語られた。

9/19 安保法案強行採決



未明の強行採決。国会前では「賛成議員は落選せよ」「野党は共闘」のコールが続いた。

9/19 国民連合政府構想を発表



午後、共産党・志位委員長が会見。①安保法制廃止のため、②かいをさらに発展させよう、③廃止で一致する政党・団体・個人が共同して連合政府をつくる、④連合政府樹立で一致する野党が選挙協力を行おう、という新提案を発表。ツイッターでも話題になり、「廃止の国民連合政府」がトレンド入り。

憲法学者、ママ、学生、弁護士…各界から反響



「わが意を得たり」（憲法学者・小林節さん、左写真）、「ぜひ政権を倒してほしい」（ノーベル賞物理学者・益川敏英さん、右写真）、「野党は虚心坦懐に力を合わせてほしい」（作家・瀬戸内寂聴さん）など、反響が続々。

9/25 野党協議スタート



「思いきった提案に敬意を表する」（民主・岡田代表）、「方針の大転換を高く評価したい。自分も協力したい」（生活・小沢代表）、「前向きに受け止める」（社民・吉田党首）。各党とも、引き続き話し合っていくことで一致した。

10/16 5党・6団体懇談開始

（学者の会・総がかり・立憲元クラシーの会・SANDs・ママの会・日弁連）



民主・枝野幹事長の呼びかけで、安保法制に反対してきた諸団体と野党5党の意見交換会を開催。参院選での野党共闘の実現について話し合われ、今後も定期的に開催することが確認された。

「東大駒場祭」のご成功と、そして、憲法違反の安保法制=戦争法を一日も早くなくしてゆけために、力をあわせよう。裏面を、私の「レポート」で紹介させていただきます。

そして11/22 sun. 東大駒場祭

提案から2カ月、いよいよ学生・若者と語る。